

学校の大気汚染を測ってみませんか

～ 学校でソラダス 2016 ～

大阪教育文化センター 環境教育研究会
科学教育研究協議会 大阪支部

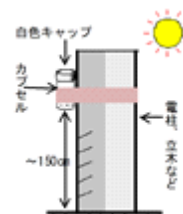
2016年5月19日(木)～20日(金)に大阪府全地域数千カ所で一斉に二酸化窒素の測定運動(ソラダス)が行われます。この調査は「大阪NO₂簡易測定運動実行委員会」(事務局大阪から公害をなくす会)によって1978年から何年かおきに実施されてきて、来年は8回目になります。今回の測定では、独自に大阪府下の学校で二酸化窒素の濃度ををはかることが提案されています。地域での測定と同時に、学校で教師や子ども達の手で大気汚染の状況を測定する調査を提案しています。できるだけ多くの学校で調査にご参加いただくようお願い申し上げます。

測定について

測定日(5月19日)の前に測定用カプセルを学校に郵送します。このカプセルを決まった時間に測定地点に設置し、24時間後回収します。測定自体は簡単なものですので小学生でも実施可能です。回収したカプセルは事務局に送ってもらいます。事務局でまとめて分析し、参加した全部の学校のデータと大阪府の全域測定の結果を一緒に送ります。

測定日時 2016年5月19日(木)18:00～5月20日(金)18:00
(24時間測定) - 設置、取外時間の多少の変更は可能です -

測定方法 測定用カプセルを二酸化窒素濃度を測定したい
地点の立木や電柱などに固定する。
記録用紙にカプセルを設置した時間など必要な
事項を記録する。
24時間後にカプセルを回収し、記録用紙に回収
時のデータを記入する。
事務局に回収したカプセルとデータを郵送する。
(詳しい測定の方法、記録用紙はカプセルと一緒に郵送します。)



測定場所 測定用のカプセルは1校に4個を送ります。学校の周辺で二酸化窒素濃度を測定したい場所を選んで設置してください。このうち一つは必ず生徒が登下校する校門につけてください。残りは学校周辺のグラウンド、交通量の多い道路、学校園など測定したい場所につけます。カプセルの数の追加は可能です。

申し込みについて

測定に参加を希望される方は下の申し込み用紙に必要事項を記入して、大阪教育文化センター宛にE-mailまたはFAXで送ってください。測定用カプセルは1個250円かかりますので、参加費は1000円必要です。(追加分のカプセルは実費でお支払いください。)このほかカプセルの郵送をご希望される方はカプセルの郵送費が必要です。

事務局 大阪教育文化センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪府教育会館403号室(たかつガーデン)

TEL 06-6768-5773 FAX 06-6768-2527

e-mail kyoubun@minos.ocn.ne.jp

<http://osaka-kyoubun.main.jp/> (ネットから申込用紙をダウンロードできます。)

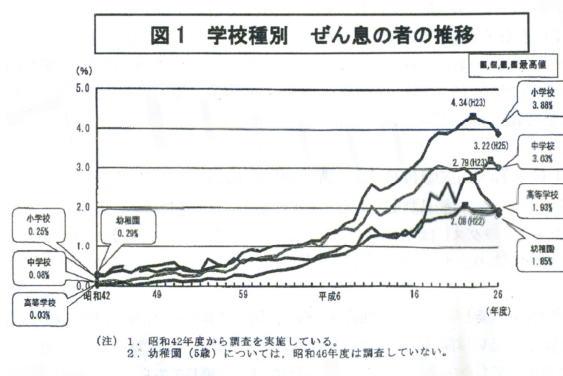
二酸化窒素の測定について

1978年にはじまった二酸化窒素の大阪府全地域でのメッシュ測定運動（ソラダス）は環境行政を後退させない大きな運動として回を重ね来年2016年に第8回目の府下全域測定を行うこととなります。大阪府や大阪市は二酸化窒素について「全測定局で環境基準を達成した。」としています。たしかにかつて見られたような深刻な汚染は見られなくなったし、空気はきれいになったように見えます。大阪府大阪市が達成したとする根拠は1978年に当時の環境基準が「厳しすぎる」として緩和された現行環境基準（日平均値で0.04～0.06ppm）というゾーンに測定値が入ったということです。0.04ppmでは健康に少なからず影響が出るといわれています。（緩和される前の旧環境基準では年平均値で0.02ppm以下と定められていました。）大阪市内の測定局（交通量の多い道路に設置してある。）で0.04ppm以下をクリアした局はほとんどありません。（2012年度）

また自治体の測定局は大阪府全域で限られた数（百カ所程度）しかなく、その多くは交通量の多い道路に設置されています。実際に人々が生活している地域の汚染を面でとらえようと、ソラダスの測定は1km²の中に数カ所の測定点を作ります。このため、1日の結果とはいえ大阪府全体での汚染地図を作成することができます。前回2012年の結果でも大阪市内を中心に現行環境基準の上限値0.06ppmを超える深刻な高濃度汚染が続く地域が存在し、その汚染が郊外に広がっていく状況が明らかになりました。

重大なことは大気汚染が原因と考えられる深刻な健康被害が依然として続いているということです。文部科学省が発表している学校保健統計の平成26年度版によれば、喘息を持つ生徒数は幼小中ではここ数年減少しているものの高校ではわずかに増加しており、30年前からの比較では3から7倍という高い状態です。ソラダス2012の健康アンケート調査では地域の二酸化窒素濃度が高くなると喘息の診断率が高くなるという相関が確認されています。

26年度学校保健調査 文部科学省



今回の提案は地域をメッシュで分けて府下全域の二酸化窒素濃度を測ること加えて、子ども達の生活する場所での二酸化窒素測定を行おうというものです。道路の沿道では自動車から排出される二酸化窒素濃度と最近問題になっているPM2.5など汚染物質の濃度に相関があるということも指摘されています。先生方や子どもたちを対象にした事前の学習会、結果の報告検討会なども予定しています。子どもたち自身の手で自分たちの環境を測定するという今回の調査に多くの学校からの参加を呼びかけます。

申込用紙

学校名		電話	
学校住所	〒		
測定責任者		アドレス	
カプセル数	個 希望		円